



食育だより

令和3年11月号
さいたま市立新和小学校

家庭数配付

11月は、「彩の国ふるさと学校給食月間」です！

埼玉県では、11月を『彩の国ふるさと学校給食月間』としています。新和小の給食でも、埼玉県産の農作物や埼玉県で昔から受け継がれてきた郷土料理を取り入れます！給食を通して自分たちの住む埼玉県をもっと好きになってもらいたいと思います。

11月19日（金）

さいたま市学校給食統一献立～10万人でいただきます！給食～

今年もさいたま市内産等の食材を活用した同じメニューを市立小・中・特別支援学校、全168校一斉に実施します。メニューは、さいたま市内産のお米、さつまいもを使った「さいたまシェフズカレー」、岩槻区で生産されているヨーロッパ野菜のカリフローレを使った「さいたまカリフローレサラダ」です。カレーソースは、シェフズSAITAMAのシェフがみんなが同じ味のカレーを食べられるように考案してくださいます。新和小では、小林さんのおいしい『ごはん（お米）』、神田農園さんの『にんじん』、中村農園さんの『さつまいも』、もちの木学級が畑で育てている『カリフローレ』など、地元岩槻でとれた食材を使いますので、お楽しみに♪

11月26日（金）

AI「愛のある給食」（All I watsuki）給食の日

今年度も同日に「感謝の会&招待給食」を併せて実施します。感謝の会には、子どもたちに温かく学習支援をしてくださっている方々や安心して生活できるように見守りをしてくださっている地域の方々をお招きしてAI「愛のある給食」（All I watsuki）給食を召し上がっていただきます。地域の方々は感謝の会終了後、家庭科室又はコンピューター室で児童と同じように給食の配膳を体験し、給食を召し上がっていただきます。

11月14日（日）は、「埼玉県民の日」

2021年、埼玉県は誕生150周年を迎えます。その節目の年に埼玉県の魅力を県内外に伝え、未来へと繋いでいくために埼玉県では、「埼玉150周年プロジェクト」を実施しています。また、今年は、5月1日が、『さいたま市民の日』になり、さいたま市誕生20周年のお祝いごとがたくさんある年です。埼玉県、さいたま市のことをもっと好きなり、将来自慢できる、誇りに思えるようになってほしいです。

知っておきたい

食育ワード

地産地消

地域で生産された食材をその地域で消費することです。生産者と消費者が近いため、生産過程を確かめられたり、新鮮な食材を入手できたりします。

学校給食は 多くの人がかかわっています

学校給食は栄養士が献立を考えて、調理員さんが給食をつくりまします。また、使われる食材は農家さんや漁師さん、畜産農家さんなどの生産者が育てたりとったりしたものを運送業者さんが運びます。このように多くの人の力によって、学校給食はみなさんのもつに届けられているのです。



給食に込めている思い

給食は、成長期のみなさんの発達のために、栄養バランスのよい豊かな食事となるように献立を考えています。また、地場産物を活用したり、地域の郷土食や行事食を出したりすることで、地域の文化や伝統についても学んでほしいと思っています。

食事のあいさつには意味があります



いただきます

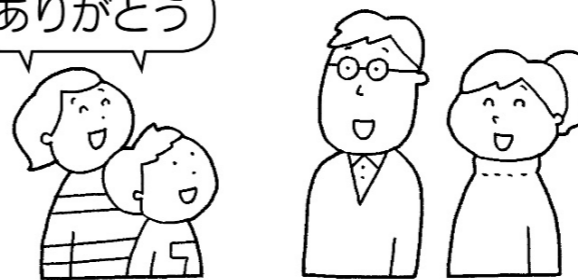
食べ物はもともと生きた動物や植物の命です。その命をいただくことへの感謝が込められています。

ごちそうさま

漢字で「ご馳走さま」と書き、食事を用意するために駆け回ってくれてありがとうという意味です。

勤労感謝の日に 思いを伝えよう

ありがとう



11月23日（火）は勤労感謝の日です。勤労感謝の日は、「勤労をたつとび、生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう」日と定められています。身近な人たちに感謝の気持ちを伝えてみませんか？

11月24日は和食の日

日本には豊かな自然があり、各地で地域に根差した多様な食材が用いられています。そして一汁三菜を基本とした栄養バランスのよい食事や自然の美しさや季節を表現し、年中行事とも深くかかわっています。この日は、和食や日本人の伝統的な食文化について考えてみましょう。

